



園 だ よ り 10 月 号

Y M C A 保育園ねがい
2021 年 10 月 8 日発行

「 初めに芽、つぎに穂、豊かな実 」

園だより 6 月号に、園庭が大きな画用紙に見えたのか、傘でアルファベットを書いていたお友だちがいたことを紹介しました。先日の朝いつも通り落ち葉の掃除をしようとしたら、今度は園庭にいろんな丸が描かれていました。メロンパンや顔、ボールなど、誰が書いたのかなあ。消すのがもったいなくて、箒を片づけてそのままにしました。

聖書のマルコによる福音書 4 章 28 節に「ある人が種をまいた種は、その人の知らない間に成長し、初めに芽が出、つぎに穂を伸ばし、やがて、その穂の中に、多くの実を結んだ。その人は大喜びでかまを入れ、実を刈り取った」と書かれています。私はここに三つのポイントがあると思います。一つはその人の「知らない間に」というところです。種そのもののの中に＜生命力＞が溢れていて、その生命力が、種を成長させてゆくのです。二つ目は種が芽生えたばかりな時に、すぐ実を期待することはできないということ。種の成長には、おのずから＜順序＞という法則が存在するのです。そして、終わりに「実ができる」と書かれています。そこには＜実り＞の喜びが隠されています。このたとえの真理を、大人が知っていたら、どんなに素晴らしいことだろうかと思うのです。子ども自体の中に、可能性と生命力がある、ということを忘れてしまわないこと。何もないところから、子どもの人間形成をやっていくのではないのです。すでに、「与えられているもの」が、子どもの中に存在しているのです。種の中には＜生命力＞が宿っていて、種を成長させ、実らせることができるのです。このことを「信じられる」人は幸いです。子どもを見つめ直す時、子どもは私たちに、その生命力と可能性を開いて見せてくれるでしょう。種から芽、芽から穂、穂から実り、という順序を飛び越えることはできません。子どもの成長も同様です。幼な子の時代には、幼な子の時代に十分味わせなければならないものがあります。その成長の過程には、愛することが必要だと思います。周りの人から愛されることで、良き＜実り＞を得ることができるのではないのでしょうか。

これからも保護者と保育者の愛で、ありのままの子どもたちを包んでいきましょう。

(園長 高橋 里香)

● 1 歳、2 歳におすすめの絵本 ●



出版社: 福音館書店

作 者: 神沢俊子

「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはある？でておいでよ」と呼びかけると次々と赤ちゃんが出てきます。ユーモラスな絵も楽しめます。



出版社: 福音館書店

作 者: A・トルストイ

発売から 50 年以上経った今も子ども達を楽しませてくれるとても有名なロシア民話。皆さん、よくご存じでしょう。この絵本の人気の秘密は繰り返しです。



出版社: 福音館書店

作 者: 元永定正

色玉がころころと飛び出し、色々な道を前へ前へ進む絵本です。色玉が、表情豊かに転がります。まるで生きているかのようです。

● 10月の行事予定 ●

～1日(金)	個人面談(ほし組)
4日(月)～8日(金)	個人面談(つき組)
7日(木)	身体測定(全園児)
11日(月)～15日(金)	個人面談(にじ組)
20日(水)	誕生会(幼児)
21日(木)	内科健診(0歳児)
23日(土)	運動会(幼児)
26日(火)	園庭開放 ほっとするこーひーやさん
27日(水)	礼拝
29日(金)	消火避難訓練

スマイルファミリーデー

9/27から“スマイルファミリーデー”を行いました。今年は保育の中で実施をしました。【ねがいのもりへようこそ】、【ミニリンピック】という2つのコーナーを設置し、クラス毎に少人数ずつで回りました。

森にはたくさんの“虫”がいて一緒に見たり触ったり、またボールを投げたり、ボールを転がしたりしました。それぞれが“笑顔”で過ごすことができました。

ご理解いただき、ありがとうございます。

黒土が届きました！子ども達が集まってきて、土の山を登ったり、駆け下りたり、跳び跳ねたり、水と混ぜたり…
全身で自然を感じ、その中で心躍らせるような経験をさせてあげたいと思っています。お洗濯が大変ですが、ご理解ください。



お知らせ

◎4・5歳児遠足を11月11日(木)に予定しています。
詳しいことは、手紙にて後日お知らせいたします。

◎11月24日(水)の礼拝は“収穫感謝”です。神様からいただいた恵み(野菜や果物など食材)に感謝する時を子ども達と保育者と共に過ごします。

◎衣替えの時期、ロッカーの着替えの入れ替えで新しい服をお持ちになると思います。
名前が記入されているか、また名前が薄くなっている物には再度ご記入をお願いいたします。

● 10月のクラス目標 ●

- 0歳)・保育者とのふれあいの中で、心地よく過ごす。
・戸外活動を通して、落ち葉など身近な自然物に保育者と一緒に触れ、探索を楽しむ。
- 1歳)・発見する喜びやおもしろさを自分で表情や仕草、言葉で表す。
・園庭遊びや散歩を通して、落ち葉やどんぐりといった自然に興味を持って触れたり、遊んだりする。
- 2歳)・園庭遊びや戸外遊びに行く中で、落ち葉や木の実といった、あらゆる自然に触れ、友だちや保育者と見せ合ったり、やり取りをしようとする。
・保育者お誘いがけや促しのもと、保育者に励まされ、自分で着替えようとする。

- 3歳)・季節の変化に気づいて、保育者の見守りのもと、衣服を調整し、健康に過ごす。
・お絵描きや粘土遊びで自分の想像を表現して遊びながら保育者や友だちと関わり、楽しむ。
- 4歳)・自分の気持ちや葛藤を保育者に認めてもらうことで、気持ちを切り替える。
・友だちや保育者と一緒に縄やボールを使って身体を動かす遊びを楽しむ。
- 5歳)・気温に合わせて衣服を調整したり、手洗いをしたりする意味を理解し、主体的に取り組み、心地よく過ごす。
・身近な自然に触れ、自然(土・水・風・光など)の持つ不思議さに関心を持って遊ぶ。